

機器紹介

放射イミュニティ試験システム



RING!RING!

プロジェクト

競輪の補助事業



測定室

電磁耐性評価室における測定風景

主な構成機器

信号発生器

Rohde & Schwarz社製 / SMB100A

パワーアンプ

Amplifier Research社製 / 250W1000A & 50S1G6

電界モニタ・センサ

Amplifier Research社製 / MP06000

カップラー

Amplifier Research社製 / DC6180A & DC7200A

アンテナ

Schwarzbeck社製 / STLP9149

パワーメータ・センサ

Rohde & Schwarz社製 / NRP2 & NRP-Z91

放射イミュニティ試験システムは、無線機器や携帯電話等から放射される電磁波に対して、電子機器が誤動作しないかどうかの耐性評価試験を行うためのシステムです。特に、機器の誤動作が即座に人身事故につながる可能性の高い医療機器やFA機器、自動車・船舶・航空機などに組み込まれる機器、また金銭を扱うATMや各種券売機等の高い信頼性が求められる機器では重要な試験となっています。近年の無線機器の急速な普及や、電子機器の動作速度および通信速度の高速化に伴い、より高い周波数、およびより大きな電界強度の電磁波に対する耐性試験が必須になってきていることから、周波数6GHz、電界強度18V/mの電磁波に対する評価試験を行うことができるようになりました。測定方法などご不明な点がありましたらお気軽にご相談下さい。

(機械電子担当 平野)



平成25年度競輪補助物件
公益財団法人JKA

KEIRINマークがついている機器は、競輪の補助金を受けて整備した機器です。